

安城市DX推進計画2.0(案)パブリックコメントによる意見募集結果

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 令和6年1月10日(水)～令和6年2月9日(金)
- (2) 周知の方法 広報あんじょう及び市公式ウェブサイト
- (3) 閲覧場所 経営情報課デジタル推進室、へきしんギャラクシープラザ(文化センター)、各地区公民館、市民交流センター、図書情報館(アンフォーレ内)、市公式ウェブサイト
- (4) 意見を提出できる人 ①市内に在住・在勤・通学している ②市内に事業所などを有する ③市内で活動している ①～③いずれかに該当する人
- (5) 意見提出方法 住所・氏名とご意見を記入し、持参か郵送、ファクス、電子メールで経営情報課デジタル推進室まで提出

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出人数 5人
- (2) 意見総数 42件
- (3) 提出方法 電子申請3名、電子メール1名、持込1名
- (4) 結果の公表 経営情報課デジタル推進室、へきしんギャラクシープラザ(文化センター)、各地区公民館、市民交流センター、図書情報館(アンフォーレ内)、市公式ウェブサイト

【意見区分】	
A:ご意見を受けて加筆・修正したもの	(2件)
B:ご意見の考え方が現行案に含まれていたもの	(1件)
C:現行案とおりとしたもの	(5件)
D:案に関連する質問など	(34件)

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要(基本は原文どおり)	市の考え方	計画への反映	意見区分
1	P27 公開型GIS	問題点:地域の道路などに不備があっても、住民から課題提起しにくく整備されない。 意見:住民から課題提起しやすい仕組みを構築し、安全な道路を維持して欲しい。具体的には、公開型GISを利用して住民が地図情報に対して意見を投稿できる仕組みを用意できないか?道路状況の調査コストを下げ、住民のニーズにより適した行政サービスになるのではないか。災害時の対応の迅速化にも貢献できそう。	地域の道路等の不備に対する意見投稿といった、通報する仕組みの導入については、公開型GISに限らず、P21の「SNSの利活用」のアクションとして記載していますが、多様な手続やサービスを市公式LINEアカウントで展開していく中で実装するなど、利用しやすい通報の仕組みの検討を進めつつ導入を推進します。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、計画の内容は従前のままとさせていただきます。	B
2	P37	「外部人材の登用」について、フルタイムではなくアルバイトのような形式で募集をかけることはできますか? 普段、ソフトウェア開発業務にフルタイムで携わっているのですが、アルバイト形式であれば行政DXに貢献したいと考えています。	全体的なDX推進といった観点での外部人材の登用においては、公平性の問題等も生じるため、アルバイト形式での募集は考えておりません。ただし、業務面でのDXに関する取組に必要となるデジタル人材の確保という点では、計画のP40に記載のとおり、多様な任用形態によるデジタル人材の確保を検討していきます。	—	D
3	P12	問題点:図書館のwebサイト(マイページ)にログインする際、毎回IDとパスワードの入力する必要がある。世間のサイトと比較して、手間が大きいです。 意見:CookieやSSOなどの仕組みで、自動ログインできる仕組みにしてほしい。	スマートフォンのブラウザアプリではCookieと同様の機能が使用できると認識しております。PCからのアクセスについてはセキュリティと利便性の観点を相互に評価しながら、より良いアクセス方法について研究してまいります。	—	D
4	1)P41 No.4 2)P41 No.11	1)41ページ No.4 デジタル環境の整備 ネットワーク環境の構築について、三河安城駅周辺の活用案で以前挙がっていた見守りカメラやフリーWi-Fiの整備を進めてほしい。特にツインパークはイベントなどの活用を頻繁に行っているかつ禁止されたスケートボードの夜間利用などがなくなるため、これらには有効に機能すると考える。 2)41ページ No.11 デジタル人材の確保 特にAIに関して高度なスキルを持つ有能な人材は一般的な公務員の給与体系であれば採用できないと考える。ゆえにデジタル化は強力な熱意があり柔軟な思考を持つ若い人材へ主に推進させ、開発などは請負や委託に割り切った方が効率的と考える。また、安城市は上場企業が多く、試験的な導入はLINEなどを通じて知見と興味のある市民に参加してもらおうと良い。	①P41のデジタル環境の整備は庁内ネットワーク環境の構築を指しますが、市内の公共施設等やまちづくりにおいても費用対効果を鑑みてAIカメラの活用やフリーWi-Fiを含め、データ利活用しやすい環境構築に努めます。 ②AIの高度なスキルを持つ職員採用は、ご意見のとおりかなり困難だと考えますので、業務のDX化につなげるという視点でデジタルに強い職員の育成・確保を図ります。また、実証的な取組においては、市民ニーズの把握や市民参加に努め、公民連携による課題解決や、産学官連携による取組の推進を図ります。	ご意見については、左記の市の考え方のとおりです。計画の内容は従前のままとします。	C
5	RPAなどのシステムについて	大手企業にてDX推進業務を担っている者です。 個々の内容について、細かいところにはご意見申し上げませんが、コンサル会社やシステムベンダーに頼ったシステムの導入は避けるべきと感じます。 システムのブラックボックス化で、少しのシステム変更でも都度ベンダーへ依頼をかけ、その度に費用とリードタイムが発生します。 大切な税金(予算)のため、効率的に使用していきたいです。 そのため、職員(正社員)のみで保守・運用が可能なレベル・範囲のシステムおよびRPAなどを導入していただきたいです。 何かあれば協力させていただきます。 以上、よろしく願いいたします。	ご意見いただいたとおり、システムのブラックボックス化は避けなければならないと考えており、住民系システムでは国の進める標準化システムへの移行を進めております。 また、クラウドサービスを積極的に利用していくとともに、導入しているRPAにつきましても、さらに利活用していけるよう職員のITリテラシーの向上を図ります。	—	D
6	P7 O1 目指す姿 1-1 安城市の目指す姿	「今後顕著となる人口減少社会において、行政サービスや都市機能、地域の活力が持続・発展していける「まち」を描き、UI/UXを意識した行政サービスやデータ利活用に向けた基盤づくり、地域社会のデジタル化など、あらゆる面においてDXを推進します。」との記載があります。当然、UI/UX、DXが全ての安城市民が知っているという前提で、計画(案)が作成されています。読み進んでいけば、いずれ説明文が出てきますが、大半の安城市民はここで読むのをあきらめ、やめてしまいます。最後にまとめて、用語に記載されていると思いますが、最初に出てくる頁の隅にでも小さく記載しておいていただきたか、またはUI/UXであれば、10頁参照、DXであれば9頁参照と小さく記載するなどの配慮をしていただきたい。	本計画におきましてDX及びUI/UXは非常に重要な用語となりますので、ご指摘のとおり、P7のDXとUI/UXについてそれぞれの説明参照ページが分かるよう、追記いたします。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、説明参照ページの記載を追加いたします。	A

番号	計画書の該当箇所	ご意見の概要(基本は原文どおり)	市の考え方	計画への反映	意見区分
7	P7 01 目指す姿 1-1 安城市の目指す姿	「また、まちの未来を担う子どもたちからデジタルに不慣れな高齢者まで、デジタルを学び、利活用する機会が十分に得られる環境づくりを進めるとともに、著しく進歩・変化するデジタル社会へ対応していけるよう、市職員のITリテラシーの向上など、デジタル人材を育成するための仕組みづくりに取り組みます。」との記載があります。同様に「デジタル」・「デジタル社会」・「ITリテラシー」・「デジタル人材」についても配慮をお願いしたい。	「ITリテラシー」については用語集への追加を行います。 なお、「デジタル」「デジタル社会」「デジタル人材」は一般的に使用されている用語と認識しておりますので、用語の説明は行わず、記載内容は従前のとおりとします。	ご指摘の件は、左記の市の考え方に基づき、用語説明の記載を追加いたします。	A
8	P7 01 目指す姿 1-1 安城市の目指す姿	第9 次安城市総合計画(案)15頁第3章目指す姿に「ともに育み、将来をつくる しあわせ共創都市 安城」との記載があります。また、本計画(案)7頁には「安城市の目指す姿 デジタル×暮らし デジタルで暮らしを彩り、快適で幸せが持続するまち 暮らしの様々な場面において、デジタルが自然に利活用されるとともに、人・もの・情報などがデジタルでつながり、生産性向上や地域社会の活性化が図られるよう、様々な分野で積極的にDXを推進し、市民の誰もが快適で幸せに暮らせる「まち」の実現を目指します。そこで、上記の文書の「まち」の箇所を「まち(共創都市)」に変更していただきたい。これにより総合計画(案)との一体感を表現していただきたい。市の見解を回答していただきたい。	総合計画(案)において、目指す姿における「共創都市」という表現は、デジタルに関連しない要素も多分に含まれています。 総合計画で掲げている共創都市と重複する部分もありますが、本計画における「まち」を「共創都市」と同一ではないため、区別して表現しております。	ご意見については、左記の市の考え方のとおりです。計画の内容は従前のままとします。	C
9	P8 01 目指す姿 1-2 目指す姿(イメージ)	「安城市が目指す姿 デジタル×暮らし 市民サービスが向上 快適なまちをつくる スマートで働きやすい市役所」との記載があります。上記はそれぞれ、以下のアクションで実現されるのでしょうか、回答していただきたい。 ●市民サービスが向上⇒UI / UXの追求したスマート行政サービスと活用支援 ・ワンストップで手続き⇒01 ①SNS の利活用 ・いつでもどこでもオンラインで手続き⇒01 ②オンライン手続の充実 ・書かない待たない窓口⇒01 ③窓口DX の推進 ・納付は便利にキャッシュレス⇒01 ④キャッシュレス決済の充実 ・誰もが容易にデジタルを利活用⇒01 ⑤デジタルデバイドの解消 ●快適なまちをつくる⇒デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり ・すぐに、簡単に情報収集⇒02 ①オープンデータの拡充 ・スマートで快適なまちに⇒02 ②データ連携基盤の構築 ・データ連携で新たな取組が創出⇒02 ③データ連携基盤の構築 ・DXにより地域が活性化⇒02 ④各分野でのデジタル活用推進 ・次世代をしっかりと支える⇒02 ⑤次世代のデジタル教育の充実 ●スマートで働きやすい市役所⇒庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成 ・AIなどの利活用で業務が効率化⇒03 ①AI・RPAの利活用拡大 ・データに基づき政策や方針を決定⇒03 ②住民向けシステムの標準化 ・データを扱いやすいデジタル環境⇒03 ③デジタル環境整備とEBPMの推進 ・職員の誰もがデジタルをつかひこなす⇒03 ④職員のITリテラシー向上	P8に記載の実現を目指す姿の各イメージにつきましては、個別の主要施策等と全てが1:1でつながっているというわけではありません。P8に記載の目指す姿の各イメージの実現のため、単独の施策で実現を目指すものもありますが、複数の施策が関係することが多く、複数の施策に取り組むことで、目指す姿の実現を図ります。	—	D
10	P9 02 DXの役割 2-1 DXとは?	このチャートを理解するためには、下段を読んで上段を読む必要があります。このため、下段と上段を入れ替えていただきたい。 通常人は上から下に向かって読みますので、市の見解を回答していただきたい。	計画のデザインとしての配置ということもありますが、計画の趣旨を記載している箇所を上段にしており、用語説明としての箇所を下段に配置しております。	ご意見については、左記の市の考え方のとおりです。計画の内容は従前のままとします。	C
11	P10 02 DXの役割 2-2 UI/UXの追求	このチャートを理解するためには、右側を読んで左側を読む必要があります。このため、左右の記載を入れ替えていただきたい。 通常人は横書きの場合、左から右に向かって読むと思われるので、市の見解を回答していただきたい。	計画のデザインとしての配置ということもありますが、UI/UXが視覚的にイメージできる箇所を左側に配置し、用語説明としての箇所を右側に配置しております。	ご意見については、左記の市の考え方のとおりです。計画の内容は従前のままとします。	C
12	P12 03 3つの基本方針 3-1 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援	「KPI(重要業績評価指標): 安城市公式LINE アカウントの友達登録者数」との記載があります。 「目標値」設定の根拠を回答していただきたい。 目標値の設定にあたっての前提として、友達登録者の年齢などどのような基準で判断されているのでしょうか、回答していただきたい。	市内の15歳-59歳の人口数と60歳以上の人口数の半数を足した人数である13万人の9割を目標値としております。	—	D
13	P12 03 3つの基本方針 3-1 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援	「KPI(重要業績評価指標): 安城市公式LINE アカウントの友達登録者数」との記載があります。 「安城市公式LINE アカウント」の使用にあたって、機密保持の観点からの市の基本的な見解を回答していただきたい。 LINEの使用は、やむをえない点はあると思いますが、各システムへの窓口としてのナビゲーターとしての役割以外には踏み込んだ使用は避けるべきと考えます。	市公式LINEアカウントについては、内閣官房・個人情報保護委員会等が提示している「政府機関・地方公共団体等における業務でのLINE利用状況調査を踏まえた今後のLINEサービス等の利用の際の考え方(ガイドライン)」に則り、運用を図ります。なお、現在の市公式LINEアカウント上の運用について、基本的には必要な情報へアクセスしやすいサービス(ナビゲーター)として活用しております。	—	D
14	P13 03 3つの基本方針 3-2 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり	「KPI(重要業績評価指標): オープンデータ公開数」との記載があります。 「目標値」の根拠を回答していただきたい。	現時点のデータ公開数と過年度のデータ公開数の実績値から1年に新規データ公開数を10と設定して目標値としております。	—	D
15	P13 03 3つの基本方針 3-2 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり	「KPI(重要業績評価指標): オープンデータ公開数」との記載があります。 「オープンデータの利活用にあたっての市の基本的な見解を回答していただきたい。 オープンデータの利活用は、誰もが計画期間内で利活用できるものではないののではないかと考えますが、どのようなスキルを持つ方を対象としているのか、市としては前提とされているのかを教えてください。	society5.0に向けて資料作成やアプリ開発をされる方(データを利活用したい、できる方)を対象に行政が保有しているデータの公開に取り組めます。	—	D
16	P14 03 3つの基本方針 3-3 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成	「KPI(重要業績評価指標): デジタルを活用できている職員の割合」との記載があります。 「目標値」設定の根拠を回答していただきたい。	各分野で広くまた効果的にデジタル活用していくためには、職員の8割程度がデジタルを活用できる組織としていくことが必要と考え、毎年約10%の増加を目標として設定し、目標値を80%としております。	—	D
17	P15 04 DX推進計画について 4-1 現状と課題	「誰一人取り残されない 人に優しいデジタル化」を目指して」との記載があります。 この姿勢で、今現在も以下のアクションに取り組まれていると思いますが、例えば、窓口DX等の取組において、一部の職員と請負業者だけで頭で考えただけで組まれたのではないかと疑ってしまうようなシステムが見受けられます。 まだまだ経験が浅いゆえのことでは無いと思いますが、特にユーザ(市民)が操作するインターフェイス画面の質の低さを聴きませぬ。こんなことなら画面から手続するより、紙に書いて手続した方が楽で速いという声を聴きます。 一般企業では既に20年以上前から業務などへの導入が進んでおり、いろいろと経験してきたことです。 是非、実際のシステム適用前に、少なくともユーザ画面での操作性などはユーザ(市民)を巻き込んで取り組むプロセスを必修で実施していただきたい。 でないと、システム化したけれど使われないシステムになってしまいます。市の見解を回答していただきたい。	システム導入を行う際、UI/UXの向上に十分配慮し取り組み、場合によってはユーザーの意見を当初から反映することも可能なことはありますが、技術面に加え、コスト面やスピード面から導入過程に一律的に組み込むことは困難なケースが多いです。 UI/UXの向上につながるよう、システムやサービスの導入の際、可能な限り実証を行いユーザーへの意見を反映していけるよう努めます。	—	D

番号	計画書の該当箇所	ご意見の概要(基本は原文どおり)	市の考え方	計画への反映	意見区分
18	P16 04 DX 推進計画について 4-2 計画の位置づけ	第9 次安城市総合計画(案)8頁 第2章策定の背景には 「1. 本市を取り巻く注目すべき社会情勢 【新技術導入による超スマート社会の到来】 昨今のデジタル技術の著しい進展に伴い、国は、デジタル技術を駆使した新たなビジネスモデルの確立や既存業務を変革するDXを推進しています。生産性の向上や人口減少による労働力不足を補う対策だけでなく、より快適で幸せに暮らしていける社会を実現していくため、健康や教育などの様々な分野におけるDXの推進とともに、デジタルを活用できる人材の育成も重要となっています。本市においても、令和3年に「安城市DX推進計画」を策定し、行政手続のオンライン化の推進や行政情報のオープンデータ化、デジタル利活用のための環境整備に取り組み、DXを推進しています。」との記載があります。 65 頁 第8章行政運営の方針では 「4. 便利な暮らしを実現する行政DX」 (11)市民の利便性向上と業務効率化に向けたデジタルの利活用 ① 市民の利便性向上のため、オンライン手続の拡充、キャッシュレス決済の推進、SNSやマイナンバーカードの利活用など、あらゆる面において行政サービスのDX化に関する取組を推進します。 ② 誰もがデジタル化の利便性を実感できるよう、UI・UXを追求し、徹底した市民目線による行政のデジタル化に取り組むとともに、デジタルに不慣れな人への活用支援を進めます。 ③ 窓口の待ち時間の短縮や手続の省力化を図るため、ワンストップサービスやプッシュ型サービスの充実などデジタル技術の効果的な利活用策を模索し、市民がデジタル化の恩恵を享受できる環境整備を進めます。 ④ AIを活用した新たなソリューションへの対応やペーパーレス化など、継続的に業務効率化やBPRに取り組み、行財政運営の効率化を図ります。 (22)データ利活用とデジタル人材の育成 ① 「スマートなまち」を目指し、行政が保有するデータのオープン化や公民連携によるデータ利活用に取り組むとともに、分散された様々なシステムなどのデータをつないで有効活用できる仕組みである「データ連携基盤」の構築に向けた取組を推進します。 ② デジタル社会の進展に対応できるよう、専門的な知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決を牽引する外部人材の登用やデジタル人材の育成強化に取り組めます。」との記載があります。 本計画は、上記の第9次安城市総合計画(案)の内容を受けて作成されていると考えてよろしいでしょうか、回答していただきたい。	計画のP16に記載のとおり、本計画につきましては、第9次安城市総合計画(案)の実現のため、デジタルの面に関する基本的な方向性を示すものとして位置付けております。	ご意見については、左記の市の考え方のとおりです。	C
19	P16 04 4-2 計画の位置づけ	本計画と「安城市行政改革大綱」とはどのような関係があるのでしょうか、回答していただきたい。	「第7次安城市行政改革大綱」の重点項目の一つに「行政のデジタル化」があり、3つの取組を掲げております。その重点項目及び各取組に係る内容について、本計画でより取組内容を具体的に記載しております。	—	D
20	P17 04 DX 推進計画について 4-3 計画期間	「安城市行政改革大綱」の計画期間はどのようになっているのでしょうか、計画期間の整合性は妥当なのでしょうか、回答していただきたい。	「第7次安城市行政改革大綱」の計画期間は令和4年度から令和8年度の5年間です。内容について本計画と連携を図り、整合性をとっていますので、計画期間は妥当であると考えています。	—	D
21	P18 04 DX 推進計画について 4-4 推進体制	本計画の進捗管理(PDCA)は「行政改革審議会」で担当されるのでしょうか、又は安城市役所内だけで進捗管理されるのでしょうか、回答していただきたい。 毎年度の実績などは、安城市のホームページなどで市民に公開されるのでしょうか、回答していただきたい。	進捗管理は、計画の18ページ「推進体制」に記載のとおり、行政改革推進委員会でまいります。行政改革審議会では行政改革大綱に記載されているデジタルに関する取組について進捗管理を行います。 計画の毎年度の実績は、現在の「安城市DX推進計画」と同様、市公式Webサイトで公開を予定しています。	—	D
22	P21 05 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 1-1 SNSの利活用 KPI	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、38 頁の「主要施策の1-1」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
23	P22 05 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 1-2 オンライン手続の拡充	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、38 頁の「主要施策の1-2」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
24	P23 05 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 1-3 窓口DXの推進	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、38 頁の「主要施策の1-3」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
25	P24 05 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 1-4 キャッシュレス決済の拡充	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、38 頁の「主要施策の1-4」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
26	P25 05 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 1-5 デジタルデバイドの解消	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、38 頁の「主要施策の1-5」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
27	P27 06 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり 2-1 オープンデータの拡充 KPI	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、39 頁の「主要施策の2-1」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
28	P28 06 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり 2-2 産学連携の取組推進	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、39 頁の「主要施策の2-2」ではないかと思われませんが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。 「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D

番号	計画書の該当箇所	ご意見の概要(基本は原文どおり)	市の考え方	計画への反映	意見区分
29	P29 06 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり 2-3 データ連携基盤の構築	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、39頁の「主要施策の2-3」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
30	P30 06 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり 2-4 各分野でのデジタル活用推進	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、39頁の「主要施策の2-4」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
31	P31 06 デジタルを活かした地域活性化と未来に向けた基盤づくり 2-5 次世代のデジタル活用推進	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、39頁の「主要施策の2-5」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
32	P33 07 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成 3-1 AI・RPAの利活用拡大	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、40頁の「主要施策の3-1」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
33	P34 07 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成 3-2 住民向けシステムの標準化	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、40頁の「主要施策の3-2」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
34	P35 07 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成 3-3 デジタル環境整備とEBPM 推進	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、40頁の「主要施策の3-3」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
35	P36 07 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成 3-4 職員のリテラシー向上 KPI	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、40頁の「主要施策の3-4」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
36	P37 07 庁内DXによる業務改善とデジタル人材育成 3-5 外部人材の活用	本頁に記載の具体的な「主要施策」は、40頁の「主要施策の3-5」ではないかと思われるが、本施策の年度毎の詳細や実績はどこかに掲載され、市民に公開されているのでしょうか、回答していただきたい。	現在の「安城市DX推進計画」の年度毎の詳細や実績は、市公式Webサイト内のDX推進計画のページにて公開を行っております。「安城市DX推進計画2.0」においても、主要施策を中心に年度毎の詳細や実績について同様に公開を予定しています。	—	D
37	P38 DX実施事業一覧 01 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 No.4 オンライン相談の拡充	No.4オンライン相談の拡充は「第2期安城市子ども・子育て支援事業計画」に記載されているのでしょうか、回答していただきたい。	記載はありません。	—	D
38	P38 DX実施事業一覧 01 UI/UXを追求したスマート行政サービスと活用支援 No.9 キャッシュレス決済の拡充	No.9キャッシュレス決済の拡充は「第4次安城市生涯学習推進計画」に記載されているのでしょうか、回答していただきたい。	記載はありません。	—	D
39	P39 DX実施事業一覧 02 デジタルを活用した地域活性化と未来に向けた基盤づくり No.6 民間企業へのDX支援	No.6民間企業へのDX 支援は、本計画書以外の計画書に記載されているのでしょうか、回答していただきたい。	記載はありませんが、中小企業のDX支援のための補助制度を設けています。	—	D
40	P39 DX 実施事業一覧 02 デジタルを活用した地域活性化と未来に向けた基盤づくり No.7 地域のデジタル化推進	No.7地域のデジタル化推進は「第3次安城市市民協働推進計画」に記載されているのでしょうか、回答していただきたい。	記載予定です。	—	D
41	P39 DX実施事業一覧 02 デジタルを活用した地域活性化と未来に向けた基盤づくり No.9 スマート農業の推進	No.9スマート農業の推進は「第3次安城市食料・農業・交流基本計画」に記載されているのでしょうか、回答していただきたい。	P33「3 生産の振興」の施策内容にて記載されています。	—	D
42	デンパークに関して	SNSの活発化をした方がいいと思います。例えば、今流行中のストリートスナップなどを実施して、SNSに投稿をして、若者などの目につきやすくすることと、TikTokアカウントを作ることです。SNSは流行が変わりやすいためSNSの把握をしていくことも大切だと思います。	現状、TikTokや他SNSを活用してストリートスナップを行っていくのは体制的に困難な状態になります。しかし、市内高校生等との連携によってSNSの積極的な利活用を検討していきたいと思っています。	—	D